

高森町では、2020年（令和2年）から、将来像「なりたいあなたに会えるまち」をめざしてきました。町の将来を担う子どもたちに、社会とのつながりの中で自分らしく生きていてほしいと願っています。

これに向けて、町では、学校の協力を得て、地域人材教育を推進してきました。その成果もあり、人の役に立ちたい、地域や社会をよくするために何かしたいと考える子どもが多く見られます。ところが、一方では、自分の意見をはっきり言えず、不登校児童生徒も多いなどの課題もあります。

そのため、今までの課題中心の指導を見直し、その子自身の発達を支え、その子らしい学びを応援する指導への転換を図ってきました。

しかし、学校の取組だけでは、効果はわずかです。そこで、子どもたちの根っこの力を育む保育園との接続を図ることに注目しました。そして、保小中が協働して、テストなどで数値化できない力の育成に重点を置いて指導することにしました。そこに、県からTOCO-TONの募集があり、参加させていただくことになりました。

高森町のTOCO-TON取組の重点は、仕組み、環境、意識の三つを変えることです。一つ目は、学校や保育園の仕組み、主に指導や連携の体制や方法を見直し改善します。二つ目は、子どもが活動する環境を、子どもの意識や意見を大事にしながら改善します。そのための作業への参加を、保護者や地域の方にも呼びかける計画です。これらの取組と広報・公開を通して、三つ目の学校、自治体、保護者、地域など、子どもを取り巻く人々の意識が変わり、相乗効果を生み出すことを期待しています。

高森町の教育とTOCO-TON

2020～
町の将来像

なりたいあなたに会えるまち

願う子ども像

社会とのつながりの中で
自分らしく生きる^{ひと}人間

育ってきた
子どもの姿

地域人材教育の推進

・ 地域に役立つことを考え → 実践する

- ・ 人の役に立ちたい
- ・ 地域や社会をよくするために何かしたい

課題から「自分らしい学び」へ

高森の子どもの課題

【町民の声】

- 元気やたくましさが足りない
- エネルギーが感じられない
- 自分の意見をはっきり言えない

【学校の実態】

- 不登校児童生徒の増加
- 不適応児童（離席等）の増加



課題対応を中心とした指導

- マイナス面解消、改善の指導



指導方針の転換

自分らしい学びを応援

- その子自身の発達を支える
発達支持 プラス面を伸ばす
- 社会性や感情のコントロール
- 予防的指導
- 幼保からのつながりを大切に

「自分らしい学び」から「TOCO-TONへ」

【指導の基本姿勢】

- 安心で信頼できる園・学校環境を基盤に、好奇心や探求心、自立性や主体性、意欲やコミュニケーション力など、数値化できない力を育む
- 自然環境や地域資源を積極的に取り入れる保育・教育により、子どもが本来持っている自ら学び成長する力を育む（やまほいくのねらいと関連）
- 子どもの「好き」や「楽しい」、「やってみたい」を重視し、自己選択・自己決定し、社会的に自立する力を育む（TOCO-TONの理念と関連）

TOCO-TON 取組の 3 重点

① 仕組み（体制・方法）を変える

- 保小中合同職員研修会と職員異校種体験
- 公立保育園の「やまほいく」（信州型自然保育）認定取得
- 心理的手法を活用した学級づくり（SEL、対人関係ゲーム等）
- 一斉保育、一斉授業からの脱却
- スタートカリキュラムの作成
- 児童生徒の異校種交流体験
- 公開保育・授業の実施と広報・公開 ほか

② 環境を変える

- 保育園庭内の樹木等を活用した遊び場の工夫拡大
 - 園外保育フィールドの拡大
 - 児童・生徒の発想や学校の特色を生かした環境づくり
 - 授業時間や給食時間の弾力的な運用による生活環境改善
 - 保護者や町民参加による環境づくり
(環境整備作業、親子レク、生活環境など)
- ほか

③ 意識を変える

【学校・自治体・保護者・地域、それぞれが】

- 保小中それぞれの役割に注目
- 保小中の学びの連続性と適時性に注目
- 一斉保育からの脱却、個の遊びの充実重視
- 一斉授業からの脱却、個別最適な学び・協働的な学び重視
- 好奇心、気づき、意欲、主体性などの非認知能力重視
- 自立性と自己選択・自己決定する力の重視 ほか